

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 5 月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年に2回消防署と夜間想定総合訓練を行っているも、中には実施経験の少ない職員もいる。また、近隣への協力の呼びかけも行っているが、実際に訓練への参加は見学程度である場合がほとんどである。	全職員が防災意識を高め、誰もが災害時に即対応できる体制を作りたい。また、近隣の協力していただける方々においても火災時等にどう協力していただくのかを明確にしたい。	年2回の消防署立ち会いの総合訓練に加え、2回の自主訓練や、内部研修での消火・通報・防火・避難などの部分的な知識・意識向上を図りたい。また、近隣の方が実際に参加できる避難訓練も行い、協力体制を確かなものへとしていきたい。	6ヶ月
2	36	プライバシーの確保について、守秘義務の観点から、事務所内の個人記録ファイルなど、目に触れる場所に氏名が書かれており、改善が必要である	全スタッフが介護職員としての守秘義務に対する意識向上及び実践できるようにしたい	定期的に守秘義務について勉強会を開催し、スタッフ全員で理解を深め、意識を持って守秘義務に取り組みたい	6ヶ月
3	1	理念に沿ってそれぞれ考えながら行動しているがまだまだ職員の動きに入居者の生活を合わせている部分があるように感じる	ゆとりを持った気持ち 又 ゆとりの空間ゆとりの時間が持てるような環境作りを行う	ゆとりのもてる人員配置と、日常業務先行とならない環境づくり、自分達が求められている事は何かを再度確認し、入所者が主体と胸を張って言えるグループホームづくりを行いたい	6ヶ月
4	13	全体的に外部研修や講習会などへの参加意欲が低く、又、介護保険の内容やグループホームのあり方など、自分達が行っている認知症介護という仕事に対する理解が不十分である職員もいる	全ての職員が認知症生活介護を行う上で、必要な知識を深め、また、意欲を持って介護という仕事に取り組めるようにする	ホーム内で今行っている内部研修に加え、その他でもこれから介護福祉士を目指す職員や、経験の浅い職員に対して、学ぶ機会を設け、定期的に行っていく	6ヶ月
5	19 20 48	・帰宅願望の強い入居者などの想いに対して、家族の方の思いが違い、不安や困惑を持たれているケースがある ・入居者ひとりひとり、全ての入居者の自己実現が達成できてないのでは？	入居者ひとりひとりの小さな望みが実現でき、出来るだけこれまでその人が生きてきたように支援し、ストレスの少ない生活を送れるように支援する	我々、介護スタッフは入居者の一番身近な代弁者として、入居者の想い・考えを理解し、家族の方々に対しても、誤解なく本人の想いが伝わるように支援し、信頼関係を築く中で、家族の方々が抱く不安や困惑を少しずつ取り除き、入居者本人それぞれの自己実現が達成できるように取り組んでいく	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。